

	<p>て意見をもらっている。</p> <p>また、今年度、アンケートを実施する予定である。</p>
委員	<p>平成23年度の接続率は約70%であるが、平成17年は、加入世帯が34.6%程度、平成18年度は33.7%であったと思う。加入世帯は5年でそんなに伸びるものなのか。</p>
業務担当課	<p>加入世帯と視聴可能世帯はちがう。集合住宅の場合、オーナーが接続していれば視聴可能世帯となるが、加入するかどうかは各世帯による。</p>
委員	<p>光ファイバーへの切り替えについて、資料では既に光ファイバーへと切り替わっているようだが、進捗はどうか。</p>
業務担当課	<p>光ファイバーの敷設を順次実施しているという報告を受けている。また、4月からは、「ひまわり光」というサービスを開始し、双方向の放送を実施していると聞いている。</p>
委員	<p>委託のあり方について、どのように業者と内容を詰めているか。</p>
事務局	<p>見積もり徴収の中で、番組の構成を検討している。契約時に番組の枠組みを決め、決定した枠組みの中で、どういった内容を取り上げるか毎週打ち合わせて決定している。</p>
委員	<p>当初の見積もり時の打ち合わせのとおりの内容で、1年間放送を行うのか。</p>
業務担当課	<p>内容がつまらないなどあれば、契約の範囲内で変更していくようお願いすることはできると思う。</p>
委員	<p>目的は住民への行政情報の提供であると思う。平成18年度に放送時間を30分に拡大した理由は何か。放送時間拡大の提案は、事業者からあったのか、それとも、行政から行ったのか。また、拡大される番組内容を業者から提案させ、内容を検討したか。</p>
業務担当課	<p>広報発行が月2回から1回に変更になり、ペーパーレスが推進されていた時期であり、広報やチラシなどの紙媒体以外の情報発信手段の活用や、広報強化を目的の一つとして、放送時間の拡大を行った。</p>
委員	<p>映像制作会社の現状は厳しい。映像は面白くないといけない。</p> <p>ひまわりネットワークの番組内容は面白くない。行政情報の提供という目的があると言えばそれまでだが、ひまわりネットワークとのもたれ合いとなっていないか。</p>

業務担当課	<p>たとえば、番組一本の製作費が40万円。契約時には、企画書が重要になり、どのような企画意図で、どのような手法によって、どのような内容を伝えるかを決め、制作の人件費、編集時間などの積み上げを行い、見積もりができる。担当課は、その内容をしっかり精査しているか。</p>
委員	<p>詳細な見積書の提出を受け、中身の検討はできる限り行っているが、専門的な内容など理解が難しい部分もある。その中で、市の意向に沿った番組内容となるよう検討している。</p>
業務担当課	<p>メープルスペシャル30分番組で100万円というのは大きな仕事。通常は30万円程度。30分番組に100万円使えるということは素晴らしいこと。ただ、それで何をPRしたいか、何を伝えたいか、制作サイドに伝えているか。</p>
委員	<p>「農のある暮らし」や「総合計画」など、市の主要施策を中心にピックアップしている。</p> <p>費用面に関して、制作には、事前準備、追跡調査など複数回取材を行っており、weeklyながくてより手間をかけた内容となっている。</p>
業務担当課	<p>通常は、放送前に試聴会を行う。行政からそのような働きかけをしているか。</p>
委員	<p>必ず行っている。</p>
業務担当課	<p>接続率が年々下がっている。やはり内容が面白くない。みよし市、豊田市の番組を見るが、豊田市の番組は面白い。時間を忘れて見てしまうくらい引きこまれる。長久手市の番組内容は、行政情報が多く、いかにも行政が作っているというイメージ。内容が硬く、疲れてしまう。そのことが、接続率低下につながっているのではないか。接続率の低下という結果をちゃんと受け止めているか。もっと楽しんでみられるような工夫が必要ではないか。</p>
委員	<p>接続率の低下について、インターネット事業者の進出により、ひまわりネットワークの接続率が下がっている。また、長久手市は転入者、転出者が多く、既存の接続者の減少が多くなる傾向がある。</p> <p>また、内容がつまらないということも原因の1つであると思う。</p> <p>最近では、ひまわりネットワークが、長久手市の氏神前にアンテナショップを設置するなど、テコ入れをしている。</p>
委員	<p>職員数について、平成22年までは把握ができていないのか。平成24年に0.34人から0.8人に増えているのはなぜか。</p>

業務担当課	<p>また、コストについて、事業費が毎年一緒なのは、民間の感覚では不思議である。</p> <p>平成24年度については、産休中の職員が復帰したため職員数が増えている。</p> <p>事業費が変わっていない点については、毎年放送の時間枠が決まっており、大きな変動がないため。放送内容については、一定の額の中で実施できるようにしている。</p>
委員	<p>豊田市やみよし市と比べ、事業費が低いというだけで、効率性の評価をAとすることは、おかしいと思う。</p>
委員	<p>質を考えて、それを維持したまま、その上でどうコストを下げたかが効率性の評価で重要となる。</p>
委員	<p>ケーブルテレビ事業だけを評価しても不十分。広報事業全体の目的が分からないと、ケーブルテレビ事業の位置付けや役割が分からない。事業の位置付けや役割が不明確であるので、担当課の評価した課題や改善点が適当なのかという点も評価がしづらいと感じる。</p> <p>ケーブルテレビ以外にも、同じようなメニューを提供する事業者が出てきている。競争の中に飛び込むことは必要であり、1つの事業者に依存することはリスクが多い。ケーブルテレビでの番組放送の撤退が適当とは思わないが、ケーブルテレビの接続率が低下している中、事業者の現状を含め、今後を考えることも必要なのではないかな。</p>
業務担当課	<p>広報媒体を連動させて、どのように市民に伝えるかを考えることは課題である。またそれが事業の魅力アップにつながるのではないかなと思う。その中の取組の一環で、市民記者を実施している。市民記者に任命された各人が、調べたいこと、伝えたいことを考えている。その取組の中で広報の方向性を考えていけるのではないかな。</p> <p>一つの事業者に依存することは危険であるとは思いますが、ケーブルテレビの利点として、台風情報など災害情報を現場に来てリアルタイムに流すなど災害時の情報源として重要なものとなる。災害協定に基づく取組もあり、撤退は考えていない。</p>
委員	<p>行政評価票の遂行上の問題点「年間を通じて、毎週に安定した行事が無く、同じような催しの放送になりがち」と評価したことは残念である。変化のない日常から、何をくみ取り、何を伝えるかを考えることが重要である。</p> <p>総合評価A「現行通り実施」という評価でよいのか。重要なことは如何に行政を進めていくかを考えること。改革といい、過去の事</p>

業務担当課	<p>業を否定してしまうことはよくないが、これまでの取組を進化、レベルアップをさせていくことは必要だと思う。</p> <p>総合評価の内容について、Aかどうかは担当課としても微妙なところである。昨年度は番組内容の見直しを行ったため、A評価とした。</p>
委員	<p>番組内容が面白くないということは、担当課が住民の知りたいことを把握していないからだと思う。広報モニター意見には、どのようなものがあるか。</p> <p>また、NHKなどが設置している放送番組審議会みたいなものはあるのか。あればどのような意見がこれまであったか。視聴者へのアンケートはこれまでもあったのか。公聴会のようなものはあるのか。</p>
業務担当課	<p>モニター意見としては、「アナウンスが平坦」、「インタビューの取り方がよくない」、「事業の内容についてもっと詳しく説明してほしい」、「放送した内容のその後の追跡調査なども放送してほしい」などの意見をもらっている。良い意見としては、「平成24年4月の組織改編の内容が分かりやすかった」、「スマイルバトンの内容がよい」などの意見がある。</p> <p>ひまわりネットワークでは、9人の番組審議委員がいる。長久手市から、秘書広報課長と地元の大学生が委員となっている。ただし、年3回の開催で、個々の番組内容についての検討は難しいので、今後は市民記者とのやりとりの中で、住民の意見を吸い上げていきたい。</p> <p>また、視聴者アンケートについて、ここ数年は実施したことはないと思う。広聴会については実施の予定はない。</p>
委員	<p>市として、どういう広報広聴を行うのか、ケーブルテレビをどういう位置付けで実施するかを考える必要がある。災害時の役割などケースごとに役割を整理する必要があると思う。</p> <p>以上で、ケーブルテレビ番組制作委託事業の外部評価を終了する。</p>